

編集趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-113	高等学校	家庭	家庭総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
06 教図	家総 308	新 家庭総合 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる		

1. 編修の趣旨及び留意点

日々の暮らしに直結した、家庭科ならではの立場から、生活に関するさまざまな知識が身につくよう編修しています。資料は、教育基本法に示されている自主・自律の精神や、自他の敬愛、公共の精神、生命を尊ぶ心などを育てることができるよう留意して選択しました。

2. 編修の基本方針

日々の生活のなかから課題を見つけ、その解決のために必要な知識と教養を身につけることができるよう留意して編修しました。高校生というライフステージを考え、職業観・結婚観・家族観など自分なりの価値観を見つけるために多くの資料を掲載し、サポートしています。

和食や和紙のユネスコ無形文化遺産登録、2020年に控える東京オリンピックと、日本の文化を問われる機会が増えていると考えました。また、留学や留学生の受け入れにより、海外の方とふれ合う機会の多い高校生も多くなっている現状を考え、日本の文化に興味を持ってもらえるようにさまざまな資料を掲載しています。

図表や写真を見やすく掲載するため、本文脇の側注スペースを広げました。これにより、側注スペースにも資料を入れることができ、より深い学習が可能になりました。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 青年期と家族 ①人生ってなんだろう？ ②家族って何だろう？	・日本の雇用環境や、男女共同参画に向けた世界と日本の取り組み、ワーク・ライフ・バランスなどについて基礎をしっかりと扱い、青年期に考えるべき職業観を養う工夫をしています（第2号、第3号）。 ・ライフステージや家族について考えさせる内容を多く掲載し、暗記型ではない人生を見通すための知識が得られるように工夫しています（第1号）。	10頁 TRY、 15頁～18頁 など。 6頁、12頁、 21頁コラム など。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>第2章 保育</p> <p>①子どもの成長を見つめる</p> <p>②子どもの世話をしてみよう</p> <p>③子どもを取り巻く環境</p> <p>④子どもの権利と福祉</p>	<p>・新しく生まれる生命を身近に感じ、その神秘について考えることができるように、等身大の赤ちゃん写真やひとりの子どもの成長を追った写真などを掲載しました（第4号）。</p> <p>・これから子育てを支える世代になることを意識し、保育にかかわるさまざまな問題について自分のこととして考えられるような表現に留意しています（第3号）。</p> <p>・世界の子どもたちの現状について考える資料をまとめました（第5号）。</p>	<p>32、33 頁折込。</p> <p>44 頁、45 頁資料、49 頁考えてみようなど。</p> <p>51 頁資料。</p>
<p>第3章 高齢者</p> <p>①超高齢社会を知る</p> <p>②高齢者とふれ合ってみよう</p> <p>③高齢期の生活を支えるしくみは？</p>	<p>・現在の日本が直面している超高齢化についての正しい知識を身につけ、これからの福祉を支えるためには、私たちが主体的に社会の形成に参画することが大切であると意識できるように構成しています（第3号）。</p> <p>・今の生活が、歳をとってからの健康の基礎になることを意識させ、健康のために今からできることを考えられるよう工夫しました（第1号）。</p>	<p>56 頁、57 頁コラム、72 頁など。</p> <p>60 頁コラムなど。</p>
<p>第4章 消費生活</p> <p>①何をどうやって買う？</p> <p>②自立した消費者とは？</p> <p>③暮らしを社会につなげる</p>	<p>・情報の扱い方、意思決定の方法、クレジットカードの使い方など、これから情報化時代で自立するために必要な内容を多く取扱っています（第2号）。</p> <p>・経済と家計の関係など、社会の一員としての自覚が持てる内容を重視しました（第2号）。</p> <p>・私たちの生活と環境のかかわりを理解するため、エシカル消費や持続可能な消費のあり方についてわかりやすく解説しています（第3号）。</p>	<p>80 頁、82 頁、83 頁資料、91 頁コラムなど。</p> <p>94 頁、102 頁コラムなど。</p> <p>102 頁コラム、103 頁資料・コラムなど。</p>
<p>第5章 食生活</p> <p>①食生活を見つめよう</p> <p>②私たちが食べているもの</p> <p>③安全・安心な食品を選ぼう</p> <p>④献立と調理</p> <p>⑤食と暮らしのかかわり</p>	<p>・各世代の栄養的な特徴を知り、健やかな身体を維持していくためにできることについて考えられるように工夫しています（第1号）。</p> <p>・身近な食にかかわる実験を数多く掲載することで、生徒の好奇心を引き出し、自主的な学習へ促します（第2号）。</p> <p>・無形文化遺産に登録された和食を中心として、さまざまな伝統食について扱いました。生命を尊び、自然を取り入れてきた古くからの知恵を知り日本の良さを再認識できます（第4号、第5号）。</p>	<p>106 頁、108 頁、132 頁資料など。</p> <p>116 頁、120 頁、121 頁 TRY など。</p> <p>109 頁伝統、158 頁調理実習など。</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第6章 衣生活 ①衣服の機能 ②衣服を入手しよう ③衣服をつくってみよう！ ④衣服を管理しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の健やか生活のために必要な衣服の入手、洗濯、手入れ、着用に仕方に至るまで丁寧に解説しました（第2号）。 ・日本の伝統的な衣服について扱い、私たちの生活に根付いている日本人の心を感じられるように工夫しました（第5号）。 	172 頁、179 頁、196 頁資料など。 202 頁、203 頁 伝統など。
第7章 住生活 ①人と住まい ②住まいの空間と構成 ③住まいと安全 ④住まいと社会 ⑤住まいと環境	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員としての自覚を持ち、積極的にまちづくりに参加できるように郷土を盛り上げる活動を行っている高校生の例を挙げました（第3号）。 ・これからの環境を考えた建物にはどのようなものがあるのか、実際の例を挙げることで、持続可能な発展について意識できるよう工夫しました（第4号）。 ・日本の風土に合わせて発展してきた日本の住居の知恵について知ることで、日本文化への理解を深めます（第5号）。 	225 頁コラムなど。 231 頁資料。 227 頁伝統、232 頁など。
第8章 生活設計 ①目標をもって生きよう！ ②人とかかわって生きる ③持続可能な社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に向かって自主的に選択していけるよう、さまざまな生活資源について扱いました（第2号）。 ・現在の環境問題について考えることで、持続可能な社会の重要性を実感できるよう工夫しました（第4号）。 ・社会の一員として何ができるのか考えられるよう、共生社会の視点から社会参加について扱いました（第3号）。 	235 頁、236 頁など。 242 頁、245 頁など。 240 頁、241 頁など。

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

誰にでも読みやすく、親しみやすい教科書を目指し、ユニバーサルフォントと、ユニバーサルカラーを使用してデザインを行いました。図表などでも、色弱の方に見えづらくなるよう配慮し、隣り合う色同士の並びを工夫しました。また、弱視の方に視認性が高いゴシック体を本文に用いる工夫もしています。

編集趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-113	高等学校	家庭	家庭総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
06 教図	家総 308	新 家庭総合 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●「人生の解説書」を目指す

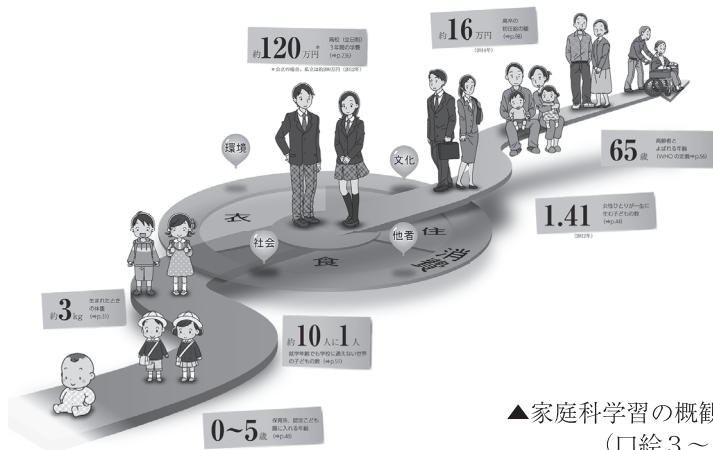
本書を「人生の解説書」と位置付けました。身の回りの生活を再認識し、人生を見通し、自分なりの価値観を築くことができるようになることを目標に、資料やコラムなどを選定しました。また、暗記型の学習にならないよう、自ら考えたり、実験したりできる内容（「TRY！」「考えてみよう！」）を多く掲載しています。また、学習の進行に応じて活用できる資料やコラム（「Column」）も豊富に掲載しています。



▲「TRY！」「考えてみよう！」「資料」「Column」はアイコンを変え、一目でわかるように工夫しています。

●家庭科学習を見通す口絵

口絵で、家庭科学習を見通すための漫画と概観図（右図）を用いました。概観図では、現在生活している空間を見つめる視点と、今まで生きてきて、これから成長していく時間の観点の両方が家庭科の学習に必要なであることを分かりやすく示しました。また、口絵には各ライフステージに関わる数字を提示し、生徒興味を惹く工夫をしています。



▲家庭科学習の概観図（口絵3～4）

●ユニバーサルデザインに配慮した教科書

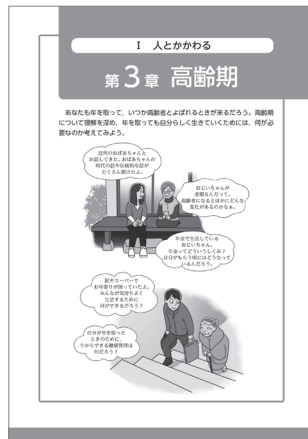
誰にでも読みやすく、親しみやすい教科書を目指し、ユニバーサルフォントと、ユニバーサルカラーを使用してデザインを行いました。図表などでも、色弱の方に見えづらくなならないよう配慮し、隣り合う色同士の並びを工夫しました。また、弱視の方に視認性が高いゴシック体を本文に用いる工夫もしています。

図表や写真を見やすく掲載するため、本文脇の側注スペースを広げました。これにより、側注スペースにも資料を入れることができ、より深い学習が可能になりました。

●編修における5つのテーマ

本書のテーマとして「健康・安全」「日本の文化」「持続可能性」「共生」「自立」という5つを設定しました。各章の扉では、これら5つの視点に立った問いかけを行い、問いかけについて考えるヒントを示し、必ず各領域のなかで学習できる仕組みとしました。

食・衣・住・消費各分野では、**ライフサイクルアセスメント (LCA)** の考え方を徹底しました。そこで、口絵に「“もの”が私たちのもとへ届くまで」を掲載し、普段なかなか目にする機会がない、原料から手元へ届くまでの手順を追いました。暮らしの仕組みを知ることで、身の周りにあるものの背景について学ぶだけでなく、持続可能性について考えるきっかけとしても使える資料を目指しました。



▲各章扉の問いかけ (p.55)



▲LCAの視点を大切に (口絵5~7)

●実感を伴う教科書

学習の内容を、できるだけ実感を伴って理解できるように、簡単にできる実験を数多く提案したり、実際の生活とつなげる資料を掲載したり、さまざまな工夫をしています。実感が湧きづらい「保育」領域においても、生命を身近に感じることでできる等身大の赤ちゃん写真やひとりの子どもの成長を追った写真などを掲載しました。また、「高齢者」領域においては実際の高齢者のインタビューを載せるなど工夫をしています。

TRY! 糖化と消化の実験をしてみよう

①糖化の様子を観察する
ガラスの器に片栗粉を入れ、熱湯を同量ほど加えてスプーンでよく混ぜると、粘りが出て固くなっていく。

②消化の様子を観察する
①でできた糖化でんぷんに、ジアスターゼ(アミラーゼ)入りの胃腸薬を粉にして加えてかき混ぜると、サラサラになっていく。ジアスターゼは、だ液の酵素であり、消化のしくみ(※p.115)と同じである。

*実験のだ液を使っても同じ効果が出る。

●糖化した状態

●消化された状態

TRY! バイナッブルのたんぱく質分解酵素

バイナッブルにプロテインという酵素が多く含まれる。たんぱく質を分解する働きがあるこの酵素を利用して、調理前に固い肉をバイナッブルのすりおろしたものに漬けておくこともある。動物性のたんぱく質を主成分とするゼラチンを使ってバイナッブルの酵素の働きを確かめてみよう!

【材料】ゼラチン(市販)、ジュース(色を付けるため)
容器、生のバイナッブル

①バイナッブルを角切りにし、半分を十分に煮ておく。
②市販のゼラチンを、説明書通りの量の湯で溶かし、ジュースを加えて混ぜる。
③②でつくった液を2つの容器に入れて、ひとつに生のバイナッブル、もうひとつに加熱したバイナッブルをたっぷり入れて冷蔵庫で固まるまで待つ。
④できあがったゼリーを見ると、生のバイナッブルを入れたゼリーは固まっていないのがわかる。

*酵素は高温で活性を失ってしまう(失活)ため、生のバイナッブルを使う必要がある。
*そのほか、キウイやパパイヤなどのくだものでも同様の効果が得られる。

●同じ時間冷やして、パッドにかけた様子。生のバイナッブルを入れた左側のゼリーは固まっていない。

▲身近な材料で短時間でできる実験が豊富 (p.116、121)

子どもの成長を見よう!

1~2か月頃	3~4か月頃	5~6か月頃	7~8か月頃	9~10か月頃	10~11か月頃
<p>【成長の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 首のしんがりを支える 【ことば】 【生活】 【気持】 	<p>【成長の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> おむたを握る 【ことば】 【生活】 【気持】 	<p>【成長の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> つかまり立ちの準備をする 【ことば】 【生活】 【気持】 	<p>【成長の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> つかまり立ちをする 【ことば】 【生活】 【気持】 	<p>【成長の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行の準備をする 【ことば】 【生活】 【気持】 	<p>【成長の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行をする 【ことば】 【生活】 【気持】

▲一人の成長を追った資料 (折込)

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
家庭科を学ぼう		口絵1 - 4	1
第1章 青年期と家族 ①人生ってなんだろう？ ②家族って何だろう？	(1) 人の一生と家族・家庭 ア 人の一生と青年期の自立 イ 家族・家庭と社会	6 - 26 頁	12
第2章 保育 ①子どもの成長を見つめる ②子どもの世話をしてみよう ③子どもを取り巻く環境 ④子どもの権利と福祉	(2) 子どもや高齢者とのかかわりと福祉 ア 子どもの発達と保育・福祉 ウ 共生社会における家庭や地域	28 - 54 頁	18
第3章 高齢者 ①超高齢社会を知る ②高齢者とふれ合ってみよう ③高齢期の生活を支えるしくみは？	(2) 子どもや高齢者とのかかわりと福祉 イ 高齢者の生活と福祉 ウ 共生社会における家庭や地域	56 - 76 頁	14
第4章 消費生活 ①何をどうやって買う？ ②自立した消費者とは？ ③暮らしを社会につなげる	(3) 生活における経済の計画と消費 ア 生活における経済の計画 イ 消費行動と意思決定 ウ 消費者の権利と責任 (4) 生活の科学と環境 エ 持続可能な社会を目指した ライフスタイルの確立	78 - 104 頁	18
第5章 食生活 ①食生活を見つめよう ②私たちが食べているもの ③安全・安心な食品を選ぼう ④献立と調理 ⑤食と暮らしのかかわり	(4) 生活の科学と環境 ア 食生活の科学と文化	106 - 166 頁	28

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第6章 衣生活 ①衣服の機能 ②衣服を入手しよう ③衣服をつくってみよう！ ④衣服を管理しよう	(4) 生活の科学と環境 イ 衣生活の科学と文化	168 - 204 頁	20
第7章 住生活 ①人と住まい ②住まいの空間と構成 ③住まいと安全 ④住まいと社会 ⑤住まいと環境	(4) 生活の科学と環境 ウ 住生活の科学と文化 エ 持続可能な社会を目指した ライフスタイルの確立	206 - 232 頁	15
第8章 生活設計 ①目標をもって生きよう！ ②人とかかわって生きる ③持続可能な社会をめざして	(2) 子どもや高齢者とのかかわりと福祉 ウ 共生社会における家庭や地域 (4) 生活の科学と環境 エ 持続可能な社会を目指した ライフスタイルの確立 (5) 生涯の生活設計 ア 生活資源とその活用 イ ライフスタイルと生活設計	234 - 248 頁	10
学んだことを実生活にいかす ・ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	(6) ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	250 - 254 頁	4
計			140

